

音読のやり方（標準的な一例）

聞く	1	【リスニング】 まずはとにかく音声を流す		まずはネイティブ音声を聞いて、全体の流れやリズム、アクセントに慣れましょう。音声に集中してください。
発音練習	2-1	【音声に重ねて音読】 教科書を見ながら通しで		音声を再生しながら、同時に文字を見て音読しましょう。ネイティブスピーカーの発音、リズム、アクセントを模倣しましょう。
	-2	【1文ずつ音声の後音読】 2回くらいずつ音読	//	音声を1文ずつ止めて、各文を文字を見て繰り返し音読します。ここでも模倣して自分の発話を向上させましょう。
	-3	【2-1を再度】 苦手箇所は個別練習	//	2-1を再度行い苦手箇所を見つけましょう。見つかったら個別に練習しましょう。
意味確認音読	3-1	【音読】 意味を思い浮かべながら		音源はオフで、教科書の文字を見ながら音読します。意味を思い浮かべながら読みましょう。
	-2	【1文ずつ音読】 文構造と単語意味を確認しながら		見える化チャートの英語を日本語にも目をやりながら読みましょう。文字と意味を一体で理解しましょう。文構造や単語理解に間違いがないかも確認しましょう。
影読み	4	【シャドウイング】 3回		音声を聞きながら、少し遅れて同じ内容を発話します。シャドウイングはリスニング力とスピーキング力の両方を向上させる効果的な練習法です。
RA	5	【音読（読み聞かせ）】 メッセージを伝える *RA: Reading Aloud		3-1と同様ですが、ここでは英文のメッセージを聞き手に伝えることを意識して音読しましょう。アナウンサーのつもりで発音、リズム、アクセントにも気を配りましょう。
自己評価とFB	6	【録音と自己評価】		Otterに録音しましょう。正しく認識されなかった部分を見つけて聞き直し、次回に向けて練習しましょう。全体を聞き直して改善点を見つけましょう。
	7	【FB】		OtterでFBを聞いて、指示に従って追加練習などをしましょう。



教科書の音源サイト



RAIT会Webサイト



Otter(録音)



Otter(コメント)



教科書

スマホ1台で対応可能（タブレット、PCも可）